

令和6年度 第18回 大学院セミナー

令和6年6月11日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	分子腫瘍生物学 分野 責任者名 (伊藤公成) 内線 (7487)
演題 Title	哺乳類の再生能力は如何にして制御されるか？
講師等 Presenter	廣瀬 健太郎 先生 国立循環器病研究センター研究所 上級研究員
概要 Abstract	<p>魚類や両生類は驚異的な再生能力を持ち、心臓の一部や腕を自律的に再生可能である。一方、我々ヒトやマウス等の哺乳類の再生能力は極めて限定的であるが、胎児期や新生児期に限定して、高度な再生能力を保持する。つまり、我々は進化や成長の過程で再生能力を消失する。では、『なぜ我々は再生能力を棄却したのか？』この問いを解明できれば、次世代の再生医療技術を開拓できるかもしれない。</p> <p>本セミナーでは、これまでの研究で我々が提唱した哺乳類の心臓再生能力を規定する新たな機構に関して説明する。更に、現在新たな研究テーマとして進めているマウス指の骨再生誘導を目指した試みについてもお話しする予定である。</p> <p>Hirose K <i>et al.</i>, <i>Science</i> 364(6436):184-188 (2019). Hirose K <i>et al.</i>, <i>BioRxiv</i> Online Loss of a novel striated muscle-enriched mitochondrial protein Coq10a enhances postnatal cardiac hypertrophic growth (2019). Payumo AY, Chen X, Hirose K, <i>et al.</i>, <i>Circulation</i> 144(12):1000-1003 (2021).</p>
開催日時 Date and Time	令和6年7月2日(火) 17:30 ~ 19:00
開催方法 Online/Face to face	対面開催: 医歯薬学総合教育研究棟 (歯学部 C 棟) 3B 講義室
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)